

安曇野屋敷林 サポーター通信

第4号

発行日/2012年9月3日

編集/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド推進室 ☎ 0263-82-3131

<http://azumino.cocolog-nifty.com/keikan/>

砺波屋敷林ツアー報告 リーダー 場々洋介

去る、8月25日(土)、安曇野屋敷林サポーター5名と、メンバー5名、事務局1名、計12名で砺波市→南砺市へ屋敷林の観察に伺いました。砺波には会員数約100名の「カイニョ倶楽部」があり、6名のメンバーの方々が同行し、説明してくれました。



<全体のスケジュール>

- 6:00 安曇野を出発
- 10:00 「となみ散君村 ミュージアム」で合流
和田宅屋敷林(南砺市)
根井宅屋敷林(南砺市)
- 12:00 閑乗寺 展望台より
- 13:00 瑞泉寺、井波 まちなみ見学
- 13:30 杉森宅屋敷林(南砺市)
- 14:00 新藤宅屋敷林(砺波市)
- 15:00 カイニョ倶楽部と交流会
- 16:30 砺波出発
- 24:00 安曇野 着

和田宅(南砺市)

初めて見た屋敷林、和田さんの考え方がそのままの形で住まいを作っていると実感しました。自然風です。彼いわく、やぶー屋敷林ー庭園という分類があるとすれば、和田



宅は“やぶ”と言っていました。確かに、庭にあるクモの巣もとらないし落ち葉拾いもしないそうです。まさに自然園。そんな印象の庭でした。ちなみに、庭の隅に石造の蔵があり、今朝テュリーをしているそうです。究極のエコハウスだそうです。

根井宅(南砺市)

約2,300㎡の広い敷地内に色々な種類の樹木が植わっています。一番感心したのは90歳ほどのおばあちゃんが、小さい荷車に七つ道具をつけて、畑や、庭掃除をしています。本年の4月上旬に強い南風が吹き、風速50~60mの強風で、枝が折れたそうです。この辺ではフィーン現象が起こる様です。



杉森宅(南砺市)

みごとに名前と家が一致するお宅でした。奥さん(桂子さん)が敷地を案内してくれました。この家はアズマダチではなく切妻ですが「マエナガレ」というスタイルです。4月の強風で倒れた杉で、屋根が壊れその際小屋裏はいっぱいはいていた、かや葺から切妻に変更した木材が庭の一角にうす高くつまれていました。奥さんいわくすべて家の屋敷林の木材は発材して改築用に使うのだそうです。また、湿度計が3本あり、見せてくれました。外部の陽の当たるところで40℃、庭の木陰で36℃、室内では32℃でした。屋敷林が周辺を涼しくしてくれる効果を証明してくれます。また大変感心したことは倒れた木の後に必ずまた木を植えていることです。いつかこれらはまた大木となり、杉森家を守ってくれることでしょう。



新藤宅(砺波市)

南砺市に比べると砺波は都市化が進み、屋敷林も減少している様です。私は新藤さん宅にもう4回目の訪問になりますが、アズマダテの切妻の家の風格には、いつも感心させられます。仏壇もすごいし、吹抜の客間は3K、4Kのケヤキ造り、上階はアマといって、杉の葉を収納する場所だったようです。庭も屋敷林もすごいのですが、ここは京都の庭園の様な庭があり、周りにあるうっそうとした屋敷林のみのお宅とは少し違った風情があります。

こちらで聞いた面白い話ですが、玄関が3つあるそうです。一つ目はお寺用のもの。二つ目は来客用玄関。そして勝手口です。人の格により、使い分けるこの北陸の文化なのでしょうか。

庭には3本の柿の木がありました。分家する時に家からもらったそうです。そんな風習がある様です。



京都風の庭



柿木がある



3間×4間のけやきづくりの客間

カイニヨ倶楽部との交流会

ガイドをしてくれた柏樹さん以下6名の方々との話し合いをしました。柏樹さんいわく15年の歴史を持つ会ですが、焦らずにやっていきたいと言っていました。1件に100年を超える木が何本残っていくのが会の様です。会は年に1回開催され、一度はボランティアとして1件のお宅の庭掃除するのだそうです。年会費1,000円。年に会報を4回出すようですが、これが情報源となっている様に思えました。

知名度で言えば安曇野は高いのですが、この屋敷林(7,000~8,000砺波にあるそうです)についてはやはり、ここは先進地、訪れる度に新しい発見がありました。会報を交換する交流などがあればいいですね。10月6日~7日には安曇野フェアがあります。6日、13:30ミニ講演と屋敷林見学回を開きます。



10月6日~7日に安曇野環境フェアが開催されます。多くの方のご参加を期待しています。

文責:場々